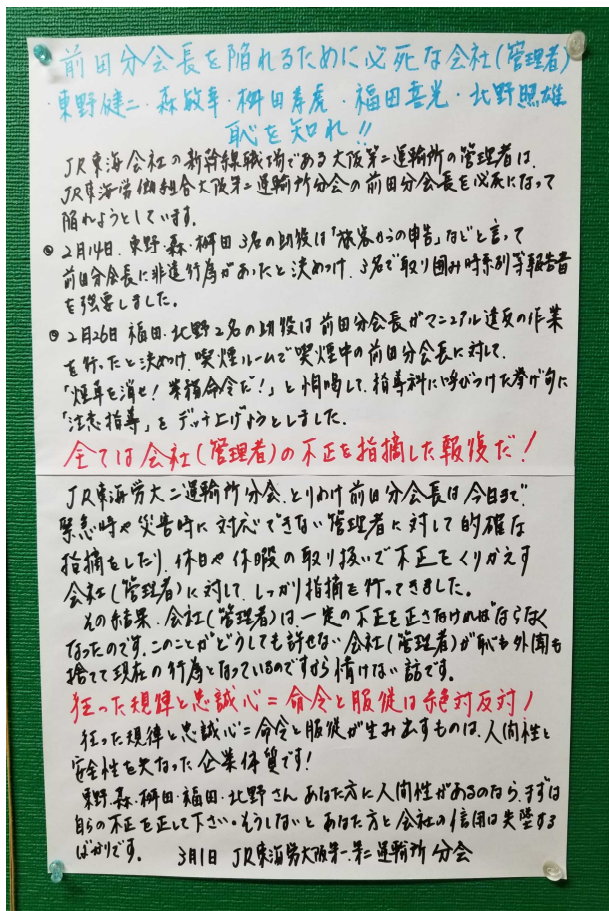


坊主憎けりゃ袈裟まで憎い！？



東海労大阪第二運輸所分会の分会長の前田さんに対して、先月、複数の管理者が取り囲み、時系列報告書の強要や罵声を浴びせ、恫喝したことは、「手書きの掲示」でお知らせしました。

しかし、「濡れタオル」の件から早、ひと月、「マニュアル違反」として恫喝されて、半月が経過しましたが、その後、会社は、この件に関して、「知らぬ存ぜぬ」です。

会社として、700系車両の運転台の鞆に置いたタオルが、デッキから見えたとすることを投稿した旅客のあり得ない、不可能な事実とは向き合わず、むしろ「タオルを鞆に置いていたこと」を問題にし、旅客が運転台の中まで見たという「セキュリティ」を脅かす事態についての問題は、ほったらかしです。

また、「マニュアル違反」とした、「後部運転台で指令電話を使用した」という件に関しては、乗務員全体に周知されていなかった事実が明らかになったということで、そんなに大事な事象なら即座に、掲示等で周知するのが、当たり前だと考えます。しかし、前田分会長を恫喝しただけの話しに終わっているという事は、会社が前田分会長を問い詰めた問題は、問題ではなかったということです。

以上、今回、前田分会長に対して行った会社の対応は、一つ一つの事象が、問題ではなかったことは、明白です。袈裟（けさ）の色や形はどうでもよかったのです！

正に、坊主が憎い それだけの問題でした！！

私たちは、職場の仲間の代弁者として、会社に向かっている、前田分会長に対する弾圧と、東海労に対する弾圧・攻撃を決して許しません！！

